

3 年 間 保 存

特定自主検査記録表

- ① 装着する機械（ベースマシン）の記録表は、様式SR-EHC等を使用すること。
② 検査済機械（ベースマシン）に装着して検査をする場合は、その情報を記入すること。

メーカー名 東 空	管理 No. YH-012	(検査済装着機械) メーカー名 ヤマハ	使用者住所 中城村字久場1991番地
型 式 TNB-2M		型式 V1017	氏名又は名称 町田機工株式会社
製 造 番 号 471		製造番号 OR035	機械管理者氏名 町田宗才
性 能 95 kg		検査年月 R3 年 10 月	検査業者登録No. 第 1 7 号
検査実施場所 宜野座(営)		検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名 沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株) 又 吉 小 島	責任者 
検査年月日 R4 年 3 月 29 日	検査者氏名 平川善之 		

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容	区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容
ブレーカ本体	1	ブレーカ上	封入ガス圧力、ガス漏れ 接続部緩み（空圧式）、取付	目視 石けん水圧力計	✓		ブレーケット等	11	ブラケット	亀裂、変形、摩耗	目視	✓	
	2	シリンダー	油漏れ、ピンバネき裂、 ブラケットはめ合い部摩耗、 取付	目視	✓			12	取付けピン、 ブシュ	亀裂、変形、摩耗、 ピンシール損傷、取付	目視	✓	
	3	ブレーカ下	亀裂、損傷、摩耗、取付、 チゼル、油動部ブシュ摩耗、 油漏れ、給脂	目視 スケール	✓	L		13	緩衝材	亀裂、摩耗、劣化、取付	目視	✓	
	4	アキュムレーター	打撃の異常（ホース振れ、 むら打ち、異音）、油漏れ	目視 操作 聴診	✓		油圧装置	14	フィルター エレメント、 ケース	*汚れ・目詰まり・損傷、 油污れ、取付	目視	✓	
	5	チゼル保持ピン	亀裂、変形、摩耗	目視 スケール	✓			15	配管（ホース 類、高圧パイプ）	亀裂、損傷、老化、ひび割れ、 ねじれ、油漏れ、取付	目視	✓	
	6	チゼル保持ピン 用抜止めピン	亀裂、変形、摩耗	目視 スケール	✓			16	リリーフバルブ	作動、油漏れ、取付	目視 操作	✓	
	7	チゼル	亀裂、変形、摩耗	目視	✓		表示 操作	17	アキュムレーター	打撃の異常（ホース振れ、むら 打ち、異音）、*ガス封入圧	目視 聴診 圧力計	✓	
空圧装置（空圧式）	8	エアホース	損傷、ひび割れ、劣化、 緩み、エア漏れ、クランプ	目視 聴診	—	—	安全 車体	18	表示板	損傷、取付	目視	✓	
	9	操作弁 ラインオイル	作動、油量、汚れ	目視 操作	—	—		19	操作レバー等	ストローク、かた	目視 操作	✓	
	10						総合	20	飛来物 防護設備	亀裂、変形、腐食、取付	目視 探傷器	✓	
								21					
								22	総合テスト	作動、異常振動、異音、 異常発熱	目視 操作 聴診 触診	✓	

事業要請等
次回特定自主検査実施年月 R5 年 3 月
ケイブ油脂を分けて下さい。

補修等の措置内容			
照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補修実施内容
3	ケイブ不足	R4.3/29	ケイブ油脂

備考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、又異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容の項目に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。又補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。	記号	交換	分解交換	修理	調整	締付	清掃	給油	該当なし
		×	⊗	△	A	T	C	L	—	

3 年 間 保 存

R4-151

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果		補修内容
					良	不良	
油圧装置	28	コントロール弁 (方向、圧力、流量、逆止め、電磁弁)	作動、油漏れ、取付、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診	✓		
	29	回転継手	回転状態、油漏れ、異音		✓		
	30	オイルクーラー	冷却効果、目詰まり、変形、損傷、油漏れ モーターの異常振動・異音・異常発熱	目視、聴診、触診	✓		
	31						
操作	32	操作レバー	ストローク、かた	目視、操作、スケール	✓		
	33						
安全装置・車体関係等	34	下部架台フレーム、ブラケット	亀裂、変形、しゅう動部摩耗、取付	目視、スケール、探傷器	✓		
	35	旋回フレーム、ブラケット	亀裂、変形、取付	目視	✓		
	36	旋回ベアリング、旋回ギヤ	引っ掛かり、異音、ギヤ亀裂・摩耗、取付、シール損傷	目視、操作、聴診、トルクレンチ	✓		
	37	旋回減速機	異音、異常発熱、油量、汚れ、油漏れ、取付	目視、操作、聴診、触診	✓		
	38	旋回ロック	効き、亀裂、損傷、油漏れ、ホース損傷・老化	目視、操作	✓		
	39	レバーロック、ペダルロック	効き、損傷、変形		✓		
	40	キャブ、カバー	亀裂、変形、腐食、雨漏り、ドア等開閉、ロック・キー作動、ガラスの割れ・損傷	目視、操作	✓		
	41	カウンターウエイト	取付	目視、スケール	✓		
	42	座席(調整機構、シート、シートベルト)	作動、損傷、取付	目視、操作	✓		
	43	昇降設備、滑り止め	亀裂、損傷、変形、取付	目視	✓		
	44	表示板	損傷、取付	目視	✓		
	45	灯火装置、音響器、方向指示器 窓拭き器、デフロスター等	作動、取付、レンズ損傷、没水	目視、操作	✓		
	46	計器類	作動	目視	✓		
	47	後写鏡、反射鏡、カメラ	汚れ、損傷、写影、取付		✓		
	48	給油脂	給油状態、自動給油脂装置作動	目視、操作		✓	
49							
総合	50	総合テスト	作動、異常振動、異音、異常発熱	操作、聴診、触診	✓		
排ガス装置	51	** 一酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み・損傷、排気温度警告装置の配線緩み・損傷、 排ガス減少装置のホース・パイプの緩み・損傷	目視、聴診、レンジ等	✓		

要請等
事業者への

次回特定自主検査実施年月	R4 年 10 月	
使用前は、クワズ驗脂を行、下せし。		

補 修 等 の 措 置 内 容

[illegible]

備考

1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。
2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。
3. 検査内容に★印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は★印を○で囲む。
4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。
5. ★印は「安衛法」と「建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針」との共通検査項目であり、★★印は両指針のための検査項目である。

記
号

交換	分解交換	修理	調整	締付	清掃	給油水	該当なし
×	⊗	△	A	T	C	L	—